



図 1 : 自己評価の理念モデル

- 自己評価は、さらに C¹・C²・A の 3 つの過程に分けて考えることができます。
- C¹では、個々の保育士等がそれぞれの実践を振り返り、他者に語ったり文章化していきます。こうした振り返りの過程では、個々の保育士の子ども観、保育観、発達観や保育に関する知識、技術などが反映されます。
- さらに、自らのあるいは他者の保育実践を省察することにより、職員間の相互作用が促され、多様な視点から子どもや保育について見直したり、保育への意欲を高めたりします。
- 個々の保育士等の保育実践を言語化し、保育所という組織としての保育や子ども理解へと転換・統合するのが、次の C²です。ここでは、C¹の過程で確認したり理解を深め合ったりしたことを、園内研修などを通じて組織的に共有します。